

# 学校評価

恵那市立上矢作小学校

令和3年度

令和4年1月11日

## 12月の学校評価の結果と改善の見通し

12月にお申し込みした学校アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。評価の結果を集計しましたので、公開させていただきます。早速、この3学期より改善に向けて取り組んで参りたいと思います。

①は7月、②は12月の集計です。

よい ←————→ よくない

	質問事項	A	B	C	D
学 力 づ く り	1 学校の授業は学力の定着につながっている。	① 20 ② 21	① 20 ② 24	① 3 ② 2	① 0 ② 0
	2 子どもは、学校で意欲的に学んでいる。	① 20 ② 17	① 20 ② 24	① 3 ② 5	① 1 ② 0
	3 子どもは、家庭学習に主体的に取り組んでいる。	① 7 ② 8	① 19 ② 18	① 17 ② 18	① 1 ② 3
心 仲 間 づ く り	4 子どもたちは、進んであいさつができています。	① 19 ② 15	① 14 ② 23	① 10 ② 8	① 1 ② 1
	5 子どもは、学校で楽しく生活している。	① 22 ② 23	① 16 ② 22	① 4 ② 2	① 1 ② 0
	6 いじめ防止や道徳教育によく取り組んでいる。	① 12 ② 14	① 22 ② 26	① 7 ② 4	① 1 ② 3
健 康 づ く り	7 歯科など健康づくりによく取り組んでいる。	① 27 ② 35	① 17 ② 12	① 0 ② 0	① 0 ② 0
	8 学校は、感染症対策を適切に行っている。	① 26 ② 25	① 16 ② 19	① 1 ② 1	① 0 ② 0
	9 学校は、体力づくりによく取り組んでいる。	① 17 ② 17	① 22 ② 21	① 5 ② 6	① 0 ② 1
連 携 づ く り	10 地域と関わる教育活動によく取り組んでいる。	① 29 ② 28	① 13 ② 17	① 2 ② 1	① 0 ② 1
	11 保護者の声や願いを聞き適切に対応している。	① 15 ② 18	① 25 ② 22	① 2 ② 1	① 0 ② 1
	12 通信やホームページ等で情報発信している。	① 23 ② 24	① 19 ② 20	① 2 ② 1	① 0 ② 0

「3家庭学習」については、低めの評価となりました。家庭学習の実態として、半数の子が「主体的に取り組めていない」という結果です。家庭学習は、中学校、高校と進学するするにつれ益々重要になっていきます。子どもたちが意欲的に学ぶことができるよう、今一度、方途を明確にして取り組んでいきますが、一方で家庭での習慣づくり、応援、励ましも不可欠です。ご協力をお願いします。「4あいさつ」については、朝のあいさつは気持ちよくできるようになってきましたが、家庭や地域とも協力して取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

## 全国学力学習状況調査から学ぶ

5月27日に実施された全国学調を、教務の原先生と分担して、自校採点をしましたが、算数については、今年度の6年生は比較的よくできている感じがしました。

ところで、算数には、次のような問題がありました。

(問) 12 mは、30 mの何倍かについて、「ゆうまさんの説明」と同じように、0.1にあたる長さがわかるようにして、言葉や数字を使って説明しなさい。

ゆうまさんは、「14 mは20 mの何倍か」について次のように説明しました。

【ゆうまさんの説明】

20 mを1としたとき、0.1にあたる長さは2 mです。14 mは、2 mの7つ分になるので、20 mを1としたときの0.7にあたります。

この問題は、「活用力」を試す問題です。これとほぼ同様の問題が、実施はされなかった昨年度の全国学調にも出題されていました。日々の授業の中で、この「活用力」を鍛えていきましょう。

例えば、同じ考え方で練習問題・発展問題を解く活動があります。そのためにも、やはり授業の終末に10分間を確保しないと、十分にできないまま終わってしまいます。

また、別の方法としては、考えを交流する時間に、ある子の考えを板書させ(考えをロイロで共有してもよい)、その子がどう考えたのか、別の子に説明させる、指導法も有効かと思います。

たくさん教材研究や授業準備をしたとしても、どんな力をつけたいのかを忘れてしまうと、よい授業にはなりません。授業のどこに時間をかけ、どんな工夫をすると学力が育つか、考えることなら、あまり時間をかけずに力のつく授業にできるはずです。そんなことをちょっと試みてください。

## 夏休みは積極的に年次休暇を取得しましょう

1学期もあと1週間ですね。成績処理、学期のまとめ等、学期末までしっかり取り組んでいただきまして、ありがとうございます。

上矢作小学校の先生方は、とても熱心ですので、他校と比べても遅い時間まで勤務されている実態があります。さぞかしお疲れのことと思います。教職員という仕事は、対人関係がベースですので、そもそも高ストレスな職業です。児童との関係、保護者との関係、地域との関係、それに職員との関係、個人差こそあれ誰もが気を使いながら勤務しています。その状況から、少し解放されるのが夏休みです。

研修や会議のない日は、積極的に年次休暇を取得し、心と体をリフレッシュして、2学期を迎えましょう。なお、夏季休暇については、8月11日～16日の閉庁期間で取得するようにしてください。